

《金目の遺産 明日につなぐ》

金目エコだより

発行日 令和3年7月1日
 発行者 金目エコミュージアム広報委員会



連絡先 平塚市立金目公民館内 ☎58-0101
<http://hiratsuka.johokyoju.net/area/kaname>

総会開催

金目エコミュージアム会長 米村康信

令和3年度の総会が新型コロナ禍の中、十分な感染防止対策をとって、平塚市社会教育課鈴木課長はじめ二人のご来賓をお迎えして、5月21日（金）、金目公民館で開催されました。

会員55名のうち、出席者、委任状を含めて定足数（会員の2/3）をはるかに満たす52名で総会が成立し、各号議案、規約改正案が滞りなく全て承認されました。会員の皆様および総会準備をされた役員の方々に感謝申し上げます。



総会の模様

令和2年度は新型コロナ禍の中で、4月と年明けの1月と二度も緊急事態宣言が発出され、予定されていた金目エコの5大事業（わかば祭り、金目灯ろう流し（共催）、収穫祭、秋山博墓前祭と資料展、出前授業）のうち3イベントを中止せざるを得ない年でありました。しかし、各4グループの主催する各イベントは規模を縮小しながらもほぼ計画通りに遂行することが出来たように思われます。また、このコロナ禍による新たな金目エコの課題や活動目標も見いだされ、これを機に今年度以降にうまく生かせればと思っています。ご協力宜しくお願い致します。

粛々と開かれました！

秋山博墓前祭実行委員長 三木 和俊

令和3年3月20日（土・春分の日）10時より天台宗寂静寺で、第19回秋山博墓前祭が行われました。

昨年はコロナ禍の真っ最中で緊急事態宣言が発出されていたので中止せざるを得ませんでした。今年もやはりコロナ禍でしたが、「三密」を避けて行われました。来賓は呼ばないで、参加者は金目エコミュージアムの関係者20余名でした。副住職大久保美良導師による読経を含めて30分程度で終了しました。本来ならば第7回福



秋山博墓前にて



秋山博資料展示会場

祉作文審査結果に基づく表彰や最優秀者による朗読も今回はありませんでした。

墓前祭後、参加者全員で境内にあるお墓参りをして解散しました。

また、3月19日（金）から21日（日）金目公民館ロビーで「資料展」が開かれました。今回から展示資料をデジタル化して読みやすく、わかりやすく、保管しやすいようにしました。「しおり」や「回覧」も同じように例年以上にきれいに印刷して、多くの方に呼びかけましたが、来場者は少なかったのが残念でした。来年こそはという気持ちです。

エコ会員がふれあいサロンで講師

昨年からのコロナ禍により、1年間ほど休んでいました広川ふれあいサロンが4月から再開しました。その2回目の令和3年5月20日（木）、広川自治会館において金目エコ会員の添田吉則氏（金目ガイド G）が講師として「広川の今昔」や「広川の魅力」について話をしました。生まれも育ちも地元広川の添田氏ですが、参加者のほとんどが転入者となっていて、何を話したら広川を理解してもらえるか悩まれたようです。

内容は、縄文時代中期の貝塚として国指定史跡で有名な五領ヶ台、平安末期から広川の鎮守としての八幡神社、鎌倉権五郎景政の開基と伝えられる善福寺の由来歴史に始まり、江戸時代の村絵図、領主（2給支配）、大正～昭和の耕地整理、自治会館の歩み等幅広いものでした

当初の持ち時間（約40分）を10分程オーバーしましたが、まだまだ語り尽くせない程広川は見所、聞き所満載の魅力的なところだと改めて知った思いです。

金目エコでは金目地区の歴史・文化の紹介やガイドを行っていますので、ご希望の方（団体に限る）は金目公民館（☎58-0101）までご連絡下さい。（広報委員 片倉徳広）



日清戦争 招魂碑
 （八幡神社）
 撰文は秋山好古

ホタル観察会

自然学級 G 遠藤知克

昨年は緊急事態宣言が発出中で観察会は中止になりましたが、今年は新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、子どもさんの参加人数を上限20名にして金目公民館・金目ミュージアム共催の「ホタル観察会」が開かれました。結果、子どもたち20名、親御さん22名、スタッフ・関係者16名で実施しました。5月8日(土)18時15分からみずほ小学校の体育館で、今まで知らなかったゲンジボタルの特徴や生態を学び、あたりが暗くなる19時頃に歩いて金目親水公園に向かいました。もうすでにホタルは多く飛び交っていました。



ゲンジボタルの体長 15mm
(金目親水公園)



ホタルの生態を学びました

19時40分ごろまでほとんどの参加者は静かに幻想的なゲンジボタルのやさしい光に癒されたのです。

平塚市・金目地区にこんな素晴らしい所があります。

まるで太古の昔にタイムスリップしたような、金目の原風景に皆さんをお誘いします。毎年5月20日ごろがホタル乱舞のピークになると期待されます。お出かけの際はライトを消し、声を落として静かに観察・鑑賞してください。来年こそコロナ禍がおさまリ、「ホタル観察会」へ多くの方々が参加されることを祈ります。

「自然観察会とお話の会」に参加して

自然学級 G 芹沢宣子

「自然観察会とお話の会」が5月22日(土)に金目親水公園で開かれました。青空の下、広場に集合した子供たちは、静かにお話に耳を傾けていました。続いて行われた自然観察会では、公園内全域に設定された9ポイントを巡りながら、ビンゴカードに答えていきました。サポートの金目エコ会員や中学生スタッフにヒントをもらいながら、親子で答えを書いていました。最後に採点してもらい、「みどりの優秀賞」をもらってうれしそうに帰っていきました。



問題を出す会員と中学生

今年は規模を縮小簡素化しての実施となりましたが、楽しいひと時を過ごせたことと思います。金目は、自然豊かな地域です。親水公園外でも金目川や通学路などで、いろいろな植物や昆虫・小鳥などに会うことができます。参加した子供たちが地域の自然に目を向け、より金目の自然を大切に考えていく人になってほしいと願っています。

「竹の子まつり」開催!

農・食文化 G 樋口久美子

今年はまん延防止等重点措置中のため、参加人数を制限して、6月5日(土)に金目公民館で2年振りに行われました。班に分かれて、ローテーションでMy竹箸作り、竹で作られた遊具の体験をします。紙鉄砲遊びでは、初めは上手く弾を飛ばせませんが、諦めず何度チャレンジしていました。「ポン!」っと良い音を立てられるようになり、的を超えて天井に近い所に弾を当てて、喜ぶ小学生の姿が印象的でした。



竹馬での親子ふれあい

輪投げコーナー。幼児は輪を全部積み重ねるのが楽しい様子でした。お父さんは、的を遠くに置いて真剣に輪を投げていました。遊んだ後は例年、竹の器で筍ご飯をいただきますが、今年は感染防止のためパック詰めのお飯を持ち帰ってもらいました。子どもから大人まで楽しめる竹の子まつり、来年は多くの方が参加出来ることを願っています。

イベント開催予定

子ども夏まつり	7月17日(土)	9:00~11:30	金目公民館
ふれあい朝市	8月7日(土)	8:30~10:30(売り切れ終了)	ふれあい広場

なお、朝市雨天の場合は翌日(8日)に延期。詳細は地元密着!!ちいき情報局にてお知らせします。

